



忘年会全員写真

チャンプニュースレター105号 目次

○山本代表のメッセージ	2
○アメリカよもやま話	山本儀子	3
○チャンプ忘年会	4
○第5回チャンプ散策の会	4
○関西支部例会・忘年会報告	岡田 優	5~6
○宮尾賢さんを偲んで	安齊洋一 高橋嗣雄 木村勝規 山田信子	7
○2024年度会計報告・次年度予算	8
○活動会メモ	8
○次回例会案内等	8

山本代表のメッセージ



Dear CHAMP Members and Members to be :

皆様、新年明けましておめでとうございます！お正月はゆっくり過ごされましたか？

2024年は自然&人的災害に揺れ動いた日本列島でした。復興が未だにはかどらず、つらい年末年始を送られた被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。加えて、国際情勢は極右政党が世界各地で勢力を増しており、まこと不安定な情勢です。ウクライナとガザ地区での戦闘停止が実現することを切に願います。

2025年は日本だけでなく、世界規模の改革の年になることを願っています。

日本の国民一人当たり名目GDPが韓国に抜かれたとのことですが、GDPで国力を計る時代は既に終わっているのではないかと私は思いますが、皆さんはいかがお考えですか？

1/05日曜日夜、NHKスペシャル<ジャポニズム・マンガなぜ世界を席卷>という番組を観て、私は新鮮な発見をして感動しました。日頃マンガを全く読まない私ですが、様々な環境（戦時下・気候変動影響下・極貧状態・大都会・過疎地etc.）に置かれた若者達にとってマンガが<生きる糧>になっている状況が報道されました。絶望的なあらゆる環境下の人々に「楽しみと希望」を与えている世界各地の様子が細やかなインタビューを通して伝わって来ました。楽しみと希望：ユニバーサルな力がマンガにあるのですね。

「今後のチャンプ」への示唆：楽しみと希望

昨年これからのチャンプ・次世代チャンプへの活動などについて会員皆様のご意見や提案を話し合ってきました。新しい運営方法として分散型自律組織（DAO：Decentralized Autonomous Organization：各メンバーがそれぞれ意思決定をして、自律的に動くことで運営する組織）も提案されましたが、その組織づくりの調整役が出てきていません。入会のハードルを低くする二年齢制限を外し・年会費を大幅に減らす（ex. 500円）も提案されましたが、未決定のままです。現時点においては、「会費」は従来通りで現存の活動会を充実させ、更なる改良進めること等が多くの会員の希望となっています。

「楽しみと希望」を創り出すことはどの組織にも共通する大切な命題でしょう。ここで、チャンプの設立主旨と理念を思い起こして下さい。<自分の経験と知識を自身の向上に役立て、且つ社会に貢献すること>です。この主旨は年齢制限を外して、会費を低減することになっても変わらないチャンプの理念として存続するものです。「今後のチャンプ」については、2025年を元年として活発な意見とアイデアを出して下さい。

★再発足活動会のお知らせです：

神田 順先生（東大名誉教授）が幹事をして下さっていた「日本の現状を本音で語る会」を再稼働致します。先生のご賛同を得まして、2025年3月に第1回を都内の至便な場所にて<昼食会>を兼ねて開きます。日時と場所は追ってメールでご案内致します。昨今、<本音で語りたい>ことが沢山ありますね。どうぞ奮ってご参加下さい。

【訃報】：チャンプ発足当時から長年お世話になってきた宮尾 賢さん（運営委員）が昨12月2日月曜日に90才で急逝されました。チャンプ一同深い悲しみと共に、ご冥福をお祈りいたします。宮尾さん、本当にいろいろとお力添えありがとうございました。

2025年例会：

- ① 関西チャンプ例会：2月11日火曜日13:00～16:20その後 夕食会（於：京都）
＜京町屋の魅力とその継承＞町屋をトーク25周年記念講演会に参加（聴講費1,000円予約済）
- ② チャンプ本部例会：3月2日日曜日14:00～16:00（於：港区立生涯学習センター）
スピーカー木下義雄会員「昨今の不動産市場と傾向」。その後希望者参加の夕食会を予定。

Best wishes,

チャンプ代表 山本儀子Noriko Yamamoto

チャンプのHPは、「チャンプの会」で検索して下さい。

チャンプのメールアドレス：info@champuniversal.com

関西チャンプ例会12/17/2024（於：大阪倶楽部）を更新

2024年11月5日火曜日の米国大統領選挙でDonald Trump氏（以下トランプ氏）が上下院ともに共和党で過半数を占める勝利を収め（上院47vs53、下院215vs220）、今や破竹の勢いで組閣・就任準備をしている。Swing States激戦州と呼ばれる7州（アリゾナ、ジョージア、ミシガン、ネバダ、ノースカロライナ、ペンシルバニア、ウィスコンシン）全てで勝利、特に選挙人が一番多いペンシルバニア州を制したことが勝因とされる。経済格差に置き去りにされたラストベルト地帯での労働者たちの支持が多大な貢献をしたとみなされている。

1)果たしてトランプ氏が掲げる経済政策は同氏が約束するような成果をもたらすであろうか？ トランプ氏のMAGA（Make America Great Againアメリカを再び偉大にする）政策に私自身は大いなる不安を持っている。同氏を支持した労働者が犠牲にならないことを願う次第だ。何故なら、トランプ氏が掲げる自国優先の「関税策」はアメリカの経済を弱体化すると思うからだ。ご存知のように、対中国には更なる10%の追加課税、メキシコとカナダには全製品に対して25%の課税を宣言。関税は確かに国の税収入を増加させるが、反面アメリカ国内での物価上昇と雇用減を招き、結局 犠牲となるのは一般庶民だ。

昨年12/14（土）付け日経新聞第1面には<トランプ関税、米も打撃：27年GDP1.1%下押し>という記事があり、関税政策は米国経済の減速につながる見通しが掲載された。下記はアジア経済研究所が作成した指標である。

トランプ関税は米の実質GDPも押し下げる:

日本	0.2%
中国	-0.3%
米国	-1.1%
カナダ	-1.2%
メキシコ	-3.8%

同経済研究所磯野氏は、「トランプ氏が掲げる自国中心の高関税政策は『自損行為』となる可能性が高い。世界経済全体の成長を抑制する要因になり得る」と指摘。

中国からの代替が難しい品目はコスト増として米経済に跳ね返る。

2)次に懸念されるのは、トランプ氏が政権閣僚をイエスマンで固めていることだ。批判を受け入れない体制は<帝国主義的>な独裁政権に繋がる。

アメリカの行方を固唾をのんでみている世界諸国。これ程までに方向性が揺れ動き、不安定なアメリカの情勢を見るのは山本にとっては初めてだ。

チャンプ忘年会 12月21日（土）

、チャンプ忘年会は28名が参加し以下で開催しました。

日時 2024年12月21日（土）11:30～14:30

会場 イタリアン「田園調布倶楽部」（大田区）

安斉運営委員長の開会の辞、山本代表の挨拶の後、12月に亡くなられた宮尾賢さんに献杯（写真下）をしました。会食の前にコーラス部が指導の寺内千代枝先生のピアノ伴奏で4曲を披露しました（曲は：「翼がほしい」「雪の降るまちを」「スタンドアロン」「いのちの理由」）（写真右上）。その後イタリアンのコース料理と懇談を



楽しみ、また食後は参加者全員の一言挨拶、森田宏次会員の詩吟などもあって和やかな中で1年を締めくくりました。

（全員写真は表紙を参照）



第5回散策の会「大田黒公園散策と会食」 11月26日（火）

日時：2024年（令和6年）11月26日（木）

集合：10:30 JR荻窪駅

参加者は13名、荻窪駅から徒歩で約10分歩いて杉並区立「大田黒公園」に到着。この公園は日本の音楽評論家の草分けとして活躍した大田黒元雄氏（1893～1979）の旧邸宅地を杉並区が公園として管理し公開しているもの。大田黒氏は大正時代に日本ではまだあまり知られていなかった多くの海外の作曲家（モーツァルト、ロッシニ、サンサーンス、フォーレ、ドビッシー、ラフマニノフ他）の評伝を書き、世に知らしめ、ピアニストとしても活躍した。

敷地面積は約9,000㎡（約、2700坪）でそれほど広くはないがよく手入れされた回遊式日本庭園である。正門は総檜、切妻づくりで、屋根は檼瓦ぶき（写真上）。多くの樹木、芝生、池を持つ庭園は紅葉の時期を迎え華やかだった（写真中）。池は筑波石と植込みで飾られ、ほとりにはあずまやが建っている（写真下・全員で記念写真）。芝生の広場の西寄りに、大田黒氏の仕事場であったレンガ色の記念館が保存されている。記念館は昭和8年に建てられたもので、当時としては珍しい西洋風の建築物で中には愛用のピアノや蓄音機などが展示されていた。記念館の中を見学した後、庭園をゆっくり楽しむことができた。その後徒歩10分ほど離れた「角川庭園（幻戯山房）」（角川書店の創設者で俳人でもある角川源義氏の旧邸宅地を公園とした）も見学した。最後に荻窪駅ルミネのイタリアン「ラ・ヴォーリアマッタ」で会食懇談を楽しみお開きとなった。（幹事：手島達夫、内藤尚、宮尾賢、木村勝規）（以上文責：中林）



関西支部12月例会・忘年会報告 岡田 優

日時：12月17日(火) 18:00~21:00

場所：「大阪倶楽部」 幹事：北沢一記さん

参加者：山本代表以下9名

次第：開会挨拶(木下支部長)

- ・「アメリカよもやま話」—山本代表(15分)
- ・本日の話題「町家をトークは今年25周年」
岡田優(30分)

18:45~20:45・懇談食事会和洋コース料理 懇談
(今日の話題+参加者近況について)

配布資料：・アメリカよもやま話 /山本代表

- ・25周年記念講演会「京町家の魅力とその継承」
フライヤー、町家をトーク例会これまでのテーマ・講師一覧表など /岡田優

はじめに 12月に急逝されたCHAMP重鎮 宮尾賢様のご冥福を祈り、木下支部長の音頭で一同黙祷した後例会を始めました。

■「アメリカよもやま話」他 —山本代表

詳細は山本代表自ら投稿されるとの事なのでそちらに譲りますが、大統領選でトランプ氏が圧勝したこと。そのMAGAを標榜した関税策の行方、周りをイエスマンで固めた体制について解説と危惧を語られました。

■「町家をトーク、も今年25周年」— 岡田 優

(東京・杉並区出身、現在町家をトーク代表)

2000年4月に始められた「町家をトーク」は、今年度25周年を迎えました。現在は私が2007年にその代表を引継ぎ17年になります。今日はその切っ掛けや経緯、そしてこの17年間の展開内容について掻い摘んでご報告します。

私は出身が東京なので、京町家に関しては修学旅行などで何度か京都を訪れ、京の街を歩いて町家格子の美しさや格子組の職業に応じたバリエーションの面白さやバツタン床几の工夫などに感心した程度でした。

その後、工業デザインを専攻していた私は普通は車や電気製品のデザインなどに進む者が多い中、住宅建築も工業製品として設計したら面白いのではないかという思いがあり、当時のナショナル住宅(スペースユニット開発部というのがありユニット住宅の開発などを試行していた)に入るべく、大阪の松下電工に就職したのです。それ以来関西暮らしが早や53年になります。そんな中、縁あって京建築の屋敷に住むことになったので、工業化住宅や住宅設備・建材の企画デザインを行う職業柄もあり、伝統木造の、言わば“店舗併用都市住宅”でシステムの的にも確立した京町家を公私両面からも是非知っておきたいと考えていました。

その様な折2000年4月から「四条京町家」で毎月1回「町家で町家をトーク」という催しが始まるという記事を朝日新聞関西版の文化欄で大きく報じられたのを見つけ、これは面白そうと申し込んで、部署の皆で手分けし

て聴きに行くことにしたのです。四条京町家というのは、京都の山鉾町の1つ郭巨山町で四条通に面してただ一軒残っていた典型的京町家で、放っておいたら取り壊されるといふ瀬戸際に個人の甲斐性で買い取られ、何とか残そうとされる篤志家(麻屋のご主人小泉光太郎さん)が命名した町家です。その方と京都の文化や街に拘ってよりよく継承して行きたいと考え地元企業の経営者や文化人と「京都こだわりの会」というのを立ち上げていた方(故・池田敏彦さん)のお二人が、取りあえずここで何かしようという事で立ち上げたのがこの「町家をトーク」という活動です。催しの初めには鉄針の蓄音機を持ちだしてご主人が昭和の唱歌を歌ってから始めると言った、京都らしくもあるゆる〜い会でしたが、終わりに時間があれば京町家の補修や維持についての相談会もあり、と云うものでした。その第1回目は三部屋1列の京町家の部屋を開放した会場に、何と(!)100名超の参加者が集まって足の踏み場もない状態でした。

いろいろな職人さんが専門の分野の技術的な事、文化的な事、住まい手がどう付き合って維持してゆくのが良いか等いろいろ勉強になる職人自らの話が聞ける愉しくためになる話が聴けました。その後私は本業が忙しく離れていましたが、2007年の定年退職を間近にひかえた年に、まだ続けておられた「町家をトーク」に顔を出したところ、主催する池田さんからバトンタッチして続けて貰えないかとの相談を受け、退職後の軟着陸をするつもりで、「私流でよければ」という条件で2008年からやって来ました。本来ならば活動に幅を徐々に広げたいという思いもあって、組織作りの絵も描いていたのですが、結局活動の軸になる「町家をトーク」の勉強会に終始したというのが実際です。この間、これまでのテーマ・講師一覧表にあるように、私が2007年の末にはベル麻痺に罹り、そのリハビリなどで準備ができず2008年度は後半のみの開催になったり、2010年には心筋梗塞で死にかけたり、2018年には前立腺の手術で入院し、そろそろ後任にリーダーを交代して貰い繋いでゆかねばと思っていた矢先のコロナ禍で思う様に開催できない中、何とか継続してきて今年度25周年を迎えた訳です。この間振り返ってみれば、私の担当した2007年度から2024年度までにお願ひした月例会の講師の方の職種は、大工(棟梁)、左官、庭師、瓦屋根葺き、畳屋、建具屋、表具屋、材木屋、竹屋、板金、和金物、石材、洗い、漆…二十数職種、お願ひした職人さんは約60人、動員した参加者は延べ3600人ほどで、その他、京町家見学、工場見学・実習、堂宮大工工務店、竹中大工道具館、京の街歩きなどの見学会を10数回ほど行いました。

そして2025年2月11日(火・祝)には、今日お配りしたフライヤーの様に、『京町家の魅力とその継承』というテーマで、25周年記念講演会を開催します。

「町家をトーク」は基本どなたでも参加できる、気軽な勉強会をモットーとした会ですので、ご興味がお有りでしたら、25周年記念講演会にどうぞいらしてください。

以上です。

■それでは、乾杯して食事しながらの懇談としましょう。木下支部長乾杯の音頭を宜しく。

～和洋折衷コース料理を頂きながら、提供された話題関連やそれぞれの近況報告を；

- ・伝統木造建築の職人技術：職人は居ても今や良い仕事がほとんど無いのではなかろうか。岡崎の別荘地域、元は京の呉服屋等が別荘を構えたのだが、その後財閥が買い取って、今やIT企業で成功した経営者が買い取って維持している。この維持には何千万、何億という膨大な費用が掛かるがこれらは高い質で維持されている。近年爆発的に増えている商売的発想だけで町家を改装改築しゲストハウスなどにするのは、京町家の好いところを残した継承はできないだろう。
- ・インバウンド需要が高まる中で、ホテルは探せば安いところは京都でもある。素泊まりするだけなら充分。新しいホテルは綺麗だし、海外からの客に合わせているのかバスタブも大きく快適

■近況報告（抜粋）／年金生活：・後期高齢者への高齢者医療保険金、介護保険金でどれだけ手取りが減っているかの情報交換、・米国と日本の年金や保険制度の違いなど／旅行の話題：・淡路島に行ってきたが、素晴らしい施設がいろいろ出来て来ていてハワイよりも素晴らしいのではないかと思うほどだ。・金沢へ行ったが安くて良かった。ベトナムも安くて☆いくつかの店で食べてきたが安いしとても良かった。・五島列島へ行ってきたが、よかった。・犬山に行ってきた。犬山城の天守に登って来たので、5つの国宝天守を総て攻略できた。など／

・食品物価高の件、金利をどうするかの件：金利はもともとあるべきではないものー「エンデの遺言」金利を考え出したのはユダヤ人、金融そのものを商売にした。／

・傘寿と喜寿と金婚式が重なった年だったが、子供たちは素知らぬ風で、ちょっと不満。／数寄屋の改修の件：・いまの仕事は天王寺のお屋敷で茶室の耐震を含めた改修で、今回初めて“アラ壁パネル”を使ってきている。和の壁の下地パネルとして使う、あらかじめ土壁を部材化したコンポーネント。質問：根継ぎというのはどこでするものなのか？根がらみの上？下？一状況状態によるので、一概には言えない。現場で視ての判断になると思う。／

・能楽の舞いはもう体力が続かないので止め謡だけにしたが、来秋には沖縄の謡「カミウタ」を謡う。これは舞わないけれど装束は付けて行うモノ。／

・耳が悪くなってきた。今はシーメンスの50万位のものを使ってきているが、症状や個人の特性に合わせる必要があり補聴器もなかなか難しいものだ。などなど。

■CHAMPを如何に若手に引き継ぐかの件：東京でのメンバーで若手（50～60歳代）は16人、そんな彼らも、自分の16歳の息子が何を考えているのか分からない。と

いう声を聴く。

・若い人が何に興味を持っているのか。具体的な活動テーマアイデアを皆で数多く出し合ってSNSなど使ってみる中から若い世代の興味をひくものを見出すのが必要か？！ 皆さん、アイデアをいっぱい出して提案してください。一山本代表 ・CHAMPの存在価値のところで、狙い、目的を明確にすることが、まず大事だと考える。次回の例会への提案／山本代表

次回は丁度持ち回り順として京都での開催となるので、2月11日の「町家をトーク25周年記念講演会『京町家の魅力とその継承』」に皆で参加し、そのあと引き続いて場所を替え夕食会でのCHAMP関西支部2月（春）例会を行うのが良いのでは。…、と提案があり、参加者一同が賛同し幹事を辻さんと岡田とし場所選定など含め宜しくとなりました。

■次回例会は2025年2月11日（火・祝）京都 幹事は辻さんと岡田。

午後1時から「町家をトーク25周年記念講演会」。「京町家の魅力とその継承」が開催されるので、可能な方皆でそれに参加し、聴講の後≪CHAMP関西支部2025年春の例会≫として午後5時30分より、「美濃吉 四条河原町店」で開催となりました。（以上、文責 岡田優）
（写真上：全員写真、下：25周年記念講演会フライヤーの一部）



町家をトーク2024

京町家の魅力とその継承

2025年 2月11日(火・祝) 12:40～受付開始

(12:40～13:00) 受付

(13:00～14:40)

第1部 基調講演 『京町家の魅力とその継承』

講師 中川 等さん
NPO法人吉村文化の会 会長

(14:40～14:50) 休憩

(14:50～16:20)

第2部 トークセッション～京町家の維持とそれを支える人々～

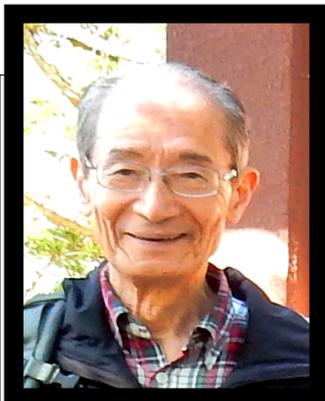
■パネリスト

<p>建築 設計</p> <p>宮家 裕久さん</p> <p>大下 尚平さん</p>	<p>代表</p> <p>左野</p> <p>監査</p> <p>光本 光均さん</p>	<p>年間責任・文庫・片角屋・立派</p> <p>代表者研究</p> <p>二宮 隆雄さん</p> <p>二宮 隆雄さん</p> <p>二宮 隆雄さん</p>	<p>年間責任・文庫・片角屋・立派</p> <p>代表者研究</p> <p>二宮 隆雄さん</p> <p>二宮 隆雄さん</p> <p>二宮 隆雄さん</p>
--	--	---	---

■ファンレター

NPO法人 吉村文化の会

宮尾 賢さんを偲んで 12月2日逝去 享年90歳



宮尾さんとお別れしたことをとても悲しく残念に思います。宮尾さんの歯切れのよい大きな声が今も聞こえてきます。いつも説得力のある見識を伺うことが出来ましたが、話題も豊富で、宮尾さんの博識ぶりには感心させられ、大いに刺激を受けました。宮尾さんはお酒がお好きで強かったですね。ワインから日本酒から焼酎まで何でもござい、談論風発で、とても楽しいお酒でした。紹介して頂いて皆で立ち寄った新橋の高級焼き肉屋さんも良いお店ですね。宮尾さんと言えばシャンソンを習っておられました。シャンソンは宮尾さんに似つかわしいジャンルだと感じました。宮尾さんはなかなかの文化人でもありましたね。日常生活では、宮尾さんの四時台に起床する早起きぶりに共感しておりました。早朝にコーヒーを飲みながらニューヨーク・タイムズを読んで世界の動きを勉強されておられたんですね。宮尾賢さんのチャンプへの貢献はとも大さかったです。ニューズレターの編集を長くやって下さり、また、東京探訪の会や散策の会の幹事を務めて頂き、楽しい思い出をさせてもらいました。新橋の会場や三井クラブの予約でも大変お世話になりました。チャンプにとって皆が集う場所の確保はとても大事ですので助かりました。運営委員会でも常に的確な意見を述べて頂くなど、宮尾先輩の多岐にわたったチャンプへの貢献、行動力にはただ感謝あるのみです。ありがとうございました。私たちはチャンプという素敵な集いの場を維持していくことに努めてまいります。立派な人生を全うされた宮尾賢さん！どうぞ安らかに休み下さい。

安斉洋一

宮尾さんとお別れしたことをとても悲しく残念に思います。宮尾さんの歯切れのよい大きな声が今も聞こえてきます。いつも説得力のある見識を伺うことが出来ましたが、話題も豊富で、宮尾さんの博識ぶりには感心させられ、大いに刺激を受けました。宮尾さんはお酒がお好きで強かったですね。ワインから日本酒から焼酎まで何でもござい、談論風発で、とても楽しいお酒でした。紹介して頂いて皆で立ち寄った新橋の高級焼き肉屋さんも良いお店ですね。宮尾さんと言えばシャンソンを習っておられました。シャンソンは宮尾さんに似つかわしいジャンルだと感じました。宮尾さんはなかなかの文化人でもありましたね。日常生活では、宮尾さんの四時台に起床する早起きぶりに共感しておりました。早朝にコーヒーを飲みながらニューヨーク・タイムズを読んで世界の動きを勉強されておられたんですね。宮尾賢さんのチャンプへの貢献はとも大さかったです。ニューズレターの編集を長くやって下さり、また、東京探訪の会や散策の会の幹事を務めて頂き、楽しい思い出をさせてもらいました。新橋の会場や三井クラブの予約でも大変お世話になりました。チャンプにとって皆が集う場所の確保はとても大事ですので助かりました。運営委員会でも常に的確な意見を述べて頂くなど、宮尾先輩の多岐にわたったチャンプへの貢献、行動力にはただ感謝あるのみです。ありがとうございました。私たちはチャンプという素敵な集いの場を維持していくことに努めてまいります。立派な人生を全うされた宮尾賢さん！どうぞ安らかに休み下さい。

木村勝規

誰からも慕われ、尊敬された人！ 秋の「散策の会」一筆、大田黒公園から余韻冷めやらぬ頃、突然の訃報に大きなショックを受けています。つい先日の例会でのスライドによる講演で、お元気だとばかり思っておりました。大田黒公園を推奨されたのも、宮尾さんでした。しかし、やはり病魔には勝てなかった悔しさに打ちひしがれております。かつて宮尾さんは、チャンプ探訪の会を、安斉渥子さんと取り仕切っておられました。私が主催する山の会も高齢化で、平地の会に移行したく、探訪の会と合併させていただけませんか、と申し上げたところ、安斉さんとも相談され、了解していただけました。そして早速名称を募集し「散策の会」と命名してくださいました。実は、私の近所にポート仲間、宮尾さんの会社の後輩がおられて（一さん、故人）「国際会議での発言は、総て宮尾さんにお任せするのが一番うまくいく秘訣」といつもおっしゃっていました。ネパールでのホテル建設も宮尾さんと一緒にうまくいった、と聞いております。浦安市斎場での彼の葬儀の時も来ておられました。

宮尾さんは、何かにつけ、責任感が強く、目的をしっかりと持って、周りをうまく巻き込んでいかれるお人柄には常々感服しておりました。「巨星落つ」あまりの急逝に、いまだ気持ちの整理がつかない状態です。心からのご冥福をお祈りします。チャンプ会員も、親しい方々が次々と亡くなられ、心の空洞が広がっております。残された私達後輩が、少しでも宮尾さんの穴を埋めるべく粉骨砕身頑張らねば、と思う昨今です。

高橋嗣雄

私が宮尾さんの逝去を知ったのは二〇二四年十二月五日で、十月に体調がすぐれないので検査入院をするも何ともなりましたが、その後の情報がなくすつと気がかりだったので、携帯に電話して出られれば無事か確認できると思い、かけて見ましたら繋げないと自動音声がでて、ご自宅の方に電話したら奥様が当たつてしまい愕然としました。宮尾さんとの出会いはCHAMP発足時から悪い予感が当たつてしまふ愕然としました。宮尾さんとの出会いはCHAMP発足時から英語を共に学ぶ会を中心とした他のCHAMPの各種活動で一方ならぬお世話になりました。私は八三年の生涯で出会った人の中で宮尾さんほど敬服した人はいません。人間的レベルの高さは驚異的知識量のみならず人柄も包容力に溢れ、私のような取り得の少ない者に対しても上から目線ではなく対等に対応して下さいました。大きく打てば大きく響き、小さく打てば小さく響くようなお方でした。奥様のお話では、葬儀は家族のみで行うこと、連絡先名簿、連絡は葬儀後に行うこと、葬儀後も弔問・香典は受け取らないこと等々事細かな書置きがあったのだそうです。CHAMP活動でも会合で使っている港区学習センターの利用申し込みが宮尾さんでなくてもできるように手配して下さいました。最後まで宮尾さんならでよい引き継がれ、皆が後困らないよう配慮して下さいました。最後まで宮尾さんの定期購読者で、英語の会のメンバーに参考となる記事がありますと常時メールに添付して送って下さいました。これが毎週二〜三回はありました。宮尾さんは殆ど辞書を使わず読んでおられましたし、メンバーから返信があった場合は、漏れなく解説を付けて返答されていきました。私にとっては宮尾さんのご逝去は「巨星落つ」という感じですが、宮尾賢さん！どうぞ安らかに休みください。ご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

山田信子

私がチャンプに入ったのは15周年記念の頃ですから、チャンプの最盛期だったのかもしれませんが、その中心に、宮尾さんはいらっしゃいました。宮尾さんと私とを結んだのは、英語の会です。私が参加し始めてすぐに宮尾さんがスピーカーの日があって、そのタイトルが“Come, Come, Everybody”でした。宮尾さんがその名のラジオ英語講座を楽しんで聞き、アメリカへ憧れ、日本の経済成長と共にアメリカへ進出していく人生のスタートを切った、というお話でした。終戦の翌年から始まったそのラジオ英語講座は、〈証城寺の狸囃子〉の旋律に英語の歌詞をつけたテーマソングが有名で、英語が何かも知らない就学前の私も、面白い歌につられてよく聞いていたものです。テーマソングが終わるとすぐに、平川唯一さんのあの優しい声が、“Hello, everyone”だか、“Good morning, everyone”と続きましたね。この講座は2021年に朝ドラの種となってTVで放映され、あの時代を鮮明に見せてくれました。中学生になられていた宮尾さんが眼を輝かせてあのラジオ講座を聞いておられた姿がはっきりと目に浮かびます。戦中戦後の厳しい時代、アメリカから脱脂粉乳やチョコレートをもたらした宮尾さん世代が、洗濯機や冷蔵庫、自動車、芝生に囲まれたきれいな家の写真を見て憧れ、英語を学んで、「24時間戦えますか」とがむしゃらに働き、経済の成長と共に“Japan as No.1”と呼ばれるまでに日本を成長させた、まさにその先端に立っておられたのです。その甘い汁をすすったのが私の時代、それを崩していったのがその後の世代、そして今の子供たちの時代がやってくる。きっと憂うところも多かったでしょうが、英語の会ではいつも世界の現状、分析の資料を提供して下さり、私たちを導いて下さいました。宮尾さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました！

活動会メモ

1. 英語を共に学ぶ会

10月26日に第270回を
レポーターは村田重章会員、
テーマ「アメリカ大統領選挙」
参加者は7名。

11月23日に第271回を開催、
レポーターは新井将史会員、テ
ーマは「アメリカ大統領選挙後につ
いて」参加者8名

12月28日に第272回を開催、
レポーターは新井ミリアム会員
テーマは「Kishore Mahbubani
氏の講演」参加者は8名。
毎月1回ZOOMで開催中
(詳細はHP参照) (幹事：高橋嗣雄)

2. チャンプ・LINEの会

常時自由なトーク交換が行われ
ています。(幹事：手島達夫)

3. チャンプ散策の会

第5回「大田黒公園散策と会食」
を11月26日(月)に開催。詳細
は本文を参照 (幹事は6名)

4. コーラスを楽しむ会

11月13日に第32回を実施。
12月21日にチャンプ忘年会で4
曲を披露。詳細は本文を参照。
毎月第2金曜日10:00~12:00に
開催します。(幹事：中林由行)

5. ゴルフ愛好会

次回の開催を企画中。
(幹事：森田宏次)

・以下は現在休止中です。

6. スケッチ散策会(関西)

7. 日本文化を語る会

8. 水彩画教室

9. 海外を見てみる会

決算・予算については非公開

《編集後記》
新しい年を迎えました、良
い年になるかどうかは私
ちの意識次第でしょう。諸
の事情で発行が一月未だり
りになつてしまいました。決
計担当の高橋嗣雄さん、決
報告をありがとうございます
た。チャンプの中核人物だ
た宮尾賢さんを亡くしたこ
は残念ですが皆様と共に気
ちを新たに前に進みましょう
(中林記)

■チャンプ本部例会予定

日時：3月2日(日)

14:00~16:00

会場：港区立生涯学習センター

スピーカー：木下義雄会員

「昨今の不動産市場と傾向」

(その後希望者参加の夕食会を予定)

■関西チャンプ例会予定

日時：2月11日(火)

町家をトーク25周年記念講演会：

「京町家の魅力とその継承」

13:00~16:20に参加

その後夕食会(於：京都)を予定

詳細は本文6P岡田レポートを参照